

せんだいた ぶん かきょうせい 仙台多文化共生センターだより

にほん せいかつ 日本の生活マナー



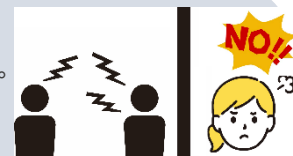
- Q. 地域の人や隣近所の人から生活マナーの注意を受けたことがあります。迷惑を掛けたつもりではなかったのですが、なぜ注意を受けたのでしょうか。
- A. 自分の国ではトラブルにならなくても、日本だとトラブルの原因になることがあります。これを知っておくと、今後のトラブル防止にも役立つと思います。

じぶん ふつう おと こえ 自分では普通の音や声なのに、なぜ苦情になるのですか？

- Q. 「夜遅くや朝早くに大きな音がする」「ベランダや廊下で大きな話し声が聞こえる」と言われました。私はそこまで大きな音や声を出していたつもりはありません。なぜ注意を受けたのでしょうか。

A. 日本では、大きな音や声を出す人と相手に迷惑が掛かると考えられています。

アパートなどの集合住宅は壁が薄いこともあり、自分が思うよりも音や声が聞こえやすいです。特に夜遅くや朝早くに聞こえると、隣近所の人にとって自分の睡眠が邪魔されていると感じ、トラブルの原因になります。他の人がすぐ近くに住んでいるアパートのような場所では、おたがいの生活のため大きな音を出さないように気を付けることが日本では大切です。



じぶん くに だいじょうぶ じてんしゃ 自分の国では大丈夫なのに、なぜ自転車のルールで注意されるのですか？

- Q. 「自転車は並んで走らないでください」「自転車は道にとめないでください」と言われました。私の国では大丈夫ですが、何がダメなのですか？

A. 日本はせまい道が多いので、並んで走ると歩いている人や前から来る自転車にぶつかるかもしれません。

おたがいにルールを守ること、安全に事故なく走ることができます。ルールを守らないと、反則金を払わなければなりません。また歩道は、歩く人が安全に通るための大切な場所です。自転車を道にとめると、お年寄りの方などが通りにくくなり、事故につながる可能性があります。そのため、決められた駐輪場以外に自転車をとめることはできません。ルールを守らないと、自転車を引き取られることがあります。



じぶん つごう よ とし ごみは、なぜ自分の都合の良い時に出してはいけないのですか？

- Q. ごみは、なぜ前日の夜ではなく当日の朝にごみを出さないといけないのですか？

A. 早くごみを外に出してしまうとカラスや猫などの動物が袋の中身をあさり、周りにごみが散らかるからです。散らかったごみは町内会の方や近所の方が掃除をしなくてはなりません。また、前日の夜からごみを出してしまうとごみの臭いが集積所の近くに広がる時間が長くなり、衛生上良くないからです。



ごみは、ものによってなぜ細かく捨て方が決まっているのですか？

- Q. ごみをきちんと分別することについて町内会の方から聞きました。

なぜ日本では細かく分別しないといけないのでしょうか？

A. ごみの中には紙や金属、プラスチックなど再利用できるものがあります。資源を再利用し、ごみの量を減らすため、分別のルールが決められています。自治体ごとにゴミ処理方法が違うため、分別ルールは自治体ごとに違います。



つぎ ページに続きます➡

7言語の広報誌

日本語のほかに、英語/English、中国語(簡体字)/簡体中文、中国語(繁体字)/繁體中文、韓国語/한국어、

ベトナム語/Tiếng Việt、ネパール語/नेपाली があります。ホームページでも見ることができます。

仙台多文化共生センターでも配っています。



たばこは、なぜどこでも吸うことができないのですか？

Q. 外でたばこを吸っていたら「ここでは禁煙です」と言われました。

火事の危険はないのに、なぜダメなのですか？

A. 地域によって、路上喫煙や、決まった場所での歩きたばこを禁止しているところがあります。

たばこを吸わない人が受動喫煙によって煙を吸い込んでしまいます。また、歩きたばこはこどもの顔の位置に火が来て大変危険なため、周りへの配慮が必要です。



大きいごみは、なぜ普通のごみとして捨てられないのですか？

Q. 帰国が決まって家具など大きいものを捨てる時、いつものごみ捨て場に出したら

「それは捨てることができません」と注意されました。なぜでしょうか。

A. 大きいごみを捨てるルールがあります。一番長い部分の長さが約30cmを超える

大きなものは「粗大ごみ」として出すことになっており、事前に予約をして捨てなければいけません。予約せずに出してしまうと回収されず、道を塞いでしまいます。回収が約2週間に1回、決められた日になっているため、粗大ごみを捨てることになる場合は余裕を持って申し込む必要があります。

粗大ごみは「粗大ごみ受付センター」(022-716-5301)へ電話をするか、インターネットで申し込んでください。

<https://www.sendai-sodai.jp/eco/view/sendai/top.html>

粗大ごみの捨て方ビデオ『Guide on How to Dispose of Bulky Waste In Sendai City』

(英語のみ)も参考にしてください。<https://www.youtube.com/watch?v=jWKQGHq5IRI>



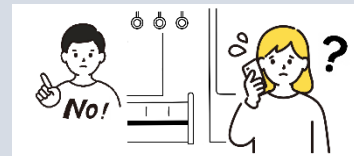
自分の国では大丈夫なのに、なぜ電車やバスで電話していたら注意されるのですか？

Q. 電車やバスに乗っていたとき、「ここでは電話で話さないでください」と注意されたことが

あります。なぜでしょうか。

A. 日本では、電車やバスなどの公共交通機関で電話で話すことはマナー違反になります。

電話を使っていなくても、乗客同士大きい声での会話も周りに迷惑をかけていると捉えられることが多いです。また、イヤホンで音楽などを聴いていても、大音量だとイヤホンから音が漏れて周りに聞こえることがあるので気を付けましょう。



仙台市では、「外国人住民のための生活マナーマニュアル」を多言語(英語、中国語簡体字、中国語繁体字、韓国語、ベトナム語、ネパール語、やさしい日本語)で作成しています。

<https://www.city.sendai.jp/shiminsekatsu/kurashi/anzen/anzen/machi/documents/r8nihongo.pdf>

「仙台生活便利帳」にも、仙台での生活に役立つ情報が載っています。

<https://int.sentia-sendai.jp/foreigner/>



日本の生活マナーを守って、地域の人たちと快適に暮らしましょう。

外国語のサポートが必要な人は、多文化共生センター (SenCUL) に相談してください。



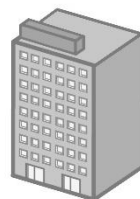
お知らせ: SenCUL休館日と困った時の相談先



【SenCUL休館日が2026年4月から変わりました】

対応時間は9:00~17:00です。

<https://int.sentia-sendai.jp/j/exchange/index.php>



毎週日曜日は
お休みになりました

【困った時の相談先】

▶緊急のときは、下記の番号に電話してください。相談や問い合わせはしないでください。

・警察:110(事故・事件)

・救急車・消防車:119(急病・火事)(24言語での多言語対応)

▶市役所・区役所での手続きなどでわからないことがあるときは、仙台市総合コールセンター「杜の都おしえてコール」を利用しましょう。

022-398-4894

受付時間:年中無休8:00~20:00(土日祝休日、12月29日~1月3日は8:00~17:00)

対応言語:日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語・ネパール語

<https://guide.callcenter.city.sendai.jp>



相談員コーナー「国が変われば『当たり前』も変わる？」

このコーナーでは、毎号のテーマにあわせて、相談員の経験や考えを紹介します

私はこれまで旅行や留学でアメリカと中国を訪れ、マナーの違いを体験しました。

子どもの頃にホームステイしたアメリカでは、家の中でも靴を脱がない習慣に驚きました。玄関らしい空間がなく、ホストファミリーも靴のまま生活していたため、私も「郷に入っては郷に従え」の気持ちでそれに従いましたが、靴を脱がないことにはずっと抵抗を感じていました。靴を脱がない理由を尋ねると、「乾燥した気候で靴が汚れにくいから」と説明され、気候と生活習慣の結びつきを実感しました。今はアメリカでも靴を脱いで家に入るところが増えていると聞きます。

成人後に訪れた中国では、食事を少し残す文化が印象的でした。これは「食べきれないほどの食事を出してもてなしてくれた」という感謝を示す表現だと聞きました。

日本では「出されたものは残さず食べる」と教えられるため最初は戸惑いでしたが、相手への敬意を示す別の方法だと理解できました。現在は中国でも、フードロス削減の考え方などと共に徐々に「残さず食べる」ことが推奨されていると聞きます。

この二つの経験から学んだのは、マナーや常識には絶対的な正解があるわけではないということです。「相手に大切にしたい」という気持ちの表現方法も国によって大きく異なります。また、時代と共にマナーや考え方も変わってきます。異文化に触れることは驚きの連続ですが、だからこそ新しい価値観を知る楽しさがあると感じています。

(相談員I)

毎号各言語版には、それぞれの相談員が「相談員コーナー」を書いていきます。
ブログで日本語訳を公開しています。ぜひ見てください。

せんだいた ぶん か きょうせい

仙台多文化共生センター (SenCUL)

Sendai Multicultural Center



かいしつじかん 開室時間
ごぜん じ ご じ 午前9時～午後5時

きゅうかん び 休館日
にちよう しゅくじつ だい げつよう び ねんまつねん し きゅうかん び げつよう び しゅくじつ ぱ あい よくしゅうげつよう び
日曜、祝日、第2月曜日、年末年始。休館日となる月曜日が祝日の場合は翌週月曜日。

じゅうしょ 住所
せんだいし あ お ば くこくぶんちよう ちょうめ せんだい かい
〒980-0803 仙台市青葉区国分町3丁目6-1 仙台パークビル1階

TEL (022) 265-2471

FAX (022) 265-2472

Email tabunka@sentic-sendai.jp

URL <https://int.sentic-sendai.jp/j/exchange/>



■ 外国語相談

せいかつじょう こま もんだい がいこくご そうだん
生活上の困りごとや問題を外国語で相談できます。

つうやく でんわ 「通訳サポート電話」(022) 224-1919 に電話してください。

たいおうげんご 対応言語: えいご ちゅうごくご かんこくご べトナムご ねぱールご たがログご タイご、
ポルトガルご スペインご ロシアご インドネシアご イタリアご フランスご、
ドイツご マレーご クメールご ミャンマーご モンゴルご シンハラご、
ヒンディーご ベンガルご ウルドゥーご

外国人のための専門相談会

べん ごし ぎょうせいしよし せんもんか せんもんそうだんかい ていきてき ひら
弁護士や行政書士などの専門家による「専門相談会」を定期的に開いています。

せんだい く おく なに こま りよう
仙台での暮らしを送るうえで何か困ったことがあれば、ぜひ利用してください。

ひみつ まも ひとり ぶん
秘密は守ります。1人30分です。

かいさいじかん 開催時間はすべて、午後1時から午後4時です。

そうだんかい ひ かくにん
相談会の日 はホームページから確認できます。

<https://int.sentic-sendai.jp/j/exchange/consultation.html>



ぎょうせいしよし
行政書士

べん ごし
弁護士

ろうどうきよく
労働局

しゅつにゆうこくざいりゅうかんりきよく
出入国在留管理局

ぜい りし
税理士

せんだいしきぎょうしえん
仙台市起業支援センター
アシ☆スタ



へんしゅう はつこう せんだいかんこうこくさいきょうかい せん てい あ かくさいかじぎょうぶ
編集・発行: 仙台観光国際協会 (SenTIA) 国際化事業部

せんだいた ぶん か きょうせい せんだいし いたく う こうざい せんだいかんこうこくさいきょうかい うんえい
仙台多文化共生センターは仙台市からの委託を受け、(公財)仙台観光国際協会が運営しています。

ねん がつはつこう
2026年8月発行